



# ネットワークの達人・足代弘訓を学ぶ

くふすまの謎を紐解けば

江戸後期の国学者の魅力がよみがえる

第二十八回かどや塾では「足代弘訓の足跡とかどやに残る和歌を紐解く」と題したセミナーを開催し、歴史ファン等約二十名が参加した。

かどやの座敷のふすまには、江戸時代後期に国学者で歌人として伊勢を中心に活躍した足代弘訓（一八七五年〜一八五六年）直筆の和歌が多数残されており、来館者の目に触れることが多い。しかし、和歌の意味するところはもとより、足代弘訓の足跡を知る人も少なかった。そこで、企画されたのが今回のかどや塾だ。



講師陣には鳥羽市教育委員会の野村史隆氏、中京大学文学部学芸員の千枝大志氏、元中学校教諭の橋本

佳代氏を迎え、三人三様の切り口で足代弘訓を語っていただいた。

文化財専門員の野村氏は、平成十六年に鳥羽市に廣野家から同住宅（屋号かどや）が寄贈されて以来、所蔵品調査等を担当している。座敷のふすまに貼られている足代弘訓の書には当初さほど関心はなかったそうだが、調べが進むにつれて弘訓の偉大さに気付き、そういう人物と親交の深かった廣野家六代目当主にも畏敬の念を抱いたと語った。

本居宣長記念館の元研究員の千枝氏は、当時から国学に興味を持ち始め、続く皇學館大学研究開発推進センター助教時代に本居宣長の子・春庭の弟子でもあった弘訓の研究を学生たちを率いて行った。かどや塾では本居宣長の目指した国学と、孫弟子にあたる弘訓が果たした役割等について解説。「江戸や京阪の文人と広く交流し、吉田松陰や大塩平八郎とも親交のあった弘訓は、持論を主張するタイプではなく、人と人を結びつけるネットワークの

達人だった」と自説を述べた。また、弘訓は国学を極めるには日本の古典だけでなく、漢文を知る必要もあるとして、日本に偏ることなく総合的な学問の必要性も説いていたと語った。

学生時代に万葉集をはじめ古典文学を研究していた橋本氏は、弘訓の和歌について解説。かどやに残されている和歌は、かどやの為に書かれたものではないが、弘訓の和歌には万葉集や源氏物語に精通した人ならではの表現が多々あり、「例えば、草木が芽吹く春を擬人化し、やわらかく美しい言葉で詠んでいて、大興奮しました」等と、一首一首に感想も付け加えながら分かりやすく解説した。

参加者からは「いろんな切り口で話してもらえたので、和歌も人となりも身近に感じられて楽しかった」等のコメントをいただき、大好評だった。



## かどや学術推進員

かどや塾で足代弘訓の和歌を鮮やかに紐解いてくれたカヨさんは、かどやのボランティア・スタッフだ。今回のちらしにも当初、講師紹介の肩書きはボランティア・スタッフとしたが、館長からの「これでは味気ない。もっとそれらしい名前、学術推進員なんかどうですか」との提案で、新たな肩書きが誕生した。

来館者の方々にふすまの書の解説をしたいというのは、かどや開館以来の悲願（表現が大袈裟）だったが、「どういう意味かはわからなくて、トホホ」と長く言葉を濁してきた。

そんな話をカヨさんにすると、部分的だが和歌の意味まで説明してくれるではないか！ならばと、かどや塾の話を持ちかけたのは昨年秋だった。ただその時点では情報も少なく、分からないことだらけ。そこで、千枝さんに相談したところ分厚い資料が見つかり、カヨさんの大奮闘が始まった。寸暇を惜しんで資料と格闘し、時には皇學館の図書館にも足を運び、正月三ヶ日も家事の合間を見つけては弘訓研究に没頭したという。その甲斐あって当日の発表は、素晴らしいの一言。大成功を収め、学術推進委員の名に余りある活躍ぶりだった。

ならばと他のスタッフにも肩書きを作ることに、ガラス磨きがプロ並みのサカエちゃんは環境美化推進員となった。だが幅広いネットワークと仕切りや交渉力に長けたチエミちゃんの肩書きは検討中である。

# おかずもスイーツも大好評！

## かどや調理倶楽部

かどやではほぼ毎月、かどや調理倶楽部を開催し、おかずやスイーツ作りを楽しんでいる。

昨年十月から本年三月には、常任講師のきよばあちゃんといきとミホちゃんに加えて、管理栄養士の資格を持つカズミちゃんも加わり、料理の幅が一段と広がった。

### 「上品な薄味が魅力！」

#### きよばあちゃんの大根餅

きよばあちゃんの料理教室は、昨年十月に「大根餅あんかけ、かぼちゃと大豆のスープ、大根しやしきしゃきサラダ」、今年二月に「すりおろしれんこん餅とひじきと鶏のささみサラダ」を作った。どちらも旬の野菜を使った身体にやさしいメニューが大好評だ。

御歳八十五歳のきよばあちゃんは、今でも新聞の料理欄には必ず目を通し、気に入ったものは切り抜いてファイルするなど、情報収集を怠らない。今回もそのファイルの中か



ら選んだもので、本番に向けては必ず事前に試作し、自分なりの改良を加えるそつだ。十月の大根餅は、白だしを使うことで塩分控え目ながら深みのある上品な味に仕上がった。二月は風邪予防にも効果的なしんこんを使ったもので、すりおろして使うのだが、簡単でヘルシーといいとこづくしの一品だった。参加者の一人は「家で作っただら大好評でした」と、後日嬉しそうに話してくれた。

### 「甘さ控えめが大好評！」

#### ミホちゃんスイーツ

程良い甘さが定評のミホちゃんの料理教室では、昨年十一月に「鬼まんじゅうとアップルゼリー」、今年一月は「チョコフリアンとチョコクレープ」、三月は「ダークチエリーのクラフティとチーズクリームタルト」に挑戦した。

鬼まんじゅうの発祥の地は名古屋だそう、名古屋在住のミホちゃんが元祖のレシピを紹介してくれた。

一月のメニューは毎年バレンタインに役立つチョコレート菓子で、今年はチョコフリアンとチョコクレープを作った。フリアンとはフランスの伝統的焼き菓子で、形は違うが材料も作り方も同じなのがフィナンシェで、食感はややさらさらとろりしている。チョコクレープも「やさしい甘さがたまらない」と、参加者たちは完成後ニコニコ顔で試食していた。

三月のクラフティも伝統的なフランスの焼き菓子で、タルト生地にカスタードクリームとフルーツを乗せて焼いたものだ。そのタルト生地を利用してチーズクリームタルトにも挑戦した。

ミホちゃんのお菓子は、どれも甘さ控えめで、作り方が簡単なのが特長だ。参加者の一人は後日「簡単にできるの

で、何度も作ってますが、孫が楽しみにしてくれて」と嬉しそうに報告してくれた。

### 「カズミちゃんどピザ作り」

十二月は、特別講師としてカズミちゃんにクリスマスパーティーにも役立つピザと、カブとアボカドのサラダを教えてもらった。

かどや保存会の理事でもあるカズミちゃんは、よく自家製のピザをかどやに届けてくれる。そこで、「ぜひ、調理倶楽部で教えて」と頼み込んだところ、「一瞬絶句したものの、先生役を引き受けてくれたのだ。本番までの二週間は、ベストな生地の配合を探求して夕食毎に試作品を作ったそう、当日は二週間前より心なしかふっくら体型で現れたが、努力の甲斐あっておいしいピザが焼きあがり、参加者は大満足の様子だった。



地を利用してチーズクリームタルトにも挑戦した。



〈へ申年にちなんだ写真展〉

前納満さんの写真展「猿〜長野県地獄谷温泉」を三月に開催した。

かどやでの写真展は3回目だが、今回は申年にちなんで温泉に入る猿として海外でも人気の長野県地獄谷野猿公苑の猿たちがテーマだ。

同公苑は一九六四年に野生ニホンザルの保護と観察のために開苑されたが、温泉に入るようになったのは、好奇心の強い仔猿が近くの旅館の露天風呂に入ったのを大人の猿がまねて入るようになったのが始まりだそう。その後、猿専用の露天風呂が整備され、世界的にも珍しい温泉に入る猿が見られる場所として「外国人が感動した日本の観光地」にもランクインしている。



前納さんは、ほのぼのとした猿たちの姿に魅せられ、一九九〇年から二〇一〇年頃まで頻りに足を運んだそう、その中から選りすぐりの十二枚が展示された。

〈備えあれば憂いなし〉

消防訓練を記憶に刻む

「消防訓練」が三月二日に実施され、鳥羽市消防署から署員二名が指導役として来館した。

まず、署員の指示のもと、館内の非常ベルや消火器の位置、避難経路等を確認。続いて、一階で火災が発生したと想定し、かどやのスタッフが、消防署への電話連絡や、消火、来館者の避難誘導等を行った。



その後、外に出て、消火器の使い方や、消火器の操作も実際に

に行った。普段使うことのない消火器の操作はお客様も参加して、真剣に取り組んだ。



◆◆貸部屋の案内◆◆

かどやを有効にご活用いただくこと、一部の部屋を貸部屋として貸し出しています。茶話会や勉強会、展示会などにご活用ください。詳細は、かどやへ。電話〇五九九―二五八六八六

時間区分	午前	午後	全日	冷暖房設備利用料
部屋	10時~12時	13時~16時	10時~16時	
座敷南(10畳)	500円	600円	1,000円	500円
座敷北(8畳)	400円	500円	900円	—
仏間(6畳)	300円	400円	700円	—

- ・営利目的の場合は、料金表の10割増しとなります。
- ・鳥羽市民または市内勤務者以外の利用は、料金表の5割増しとなります。
- ・許可された使用時間を超過する場合は、割増料金が発生します。
- ・冷暖房費は、全日使用の場合は2倍になります。

かどや保存会 平成28年度会員募集中!

かどや保存会は、歴史的文化財である「鳥羽大庄屋かどや」の保存ならびに効果的な活用・運営をめざして活動を続けており、当会を支援してくださる会員を募集しています。お陰さまで27年度には、301名の方々に会員登録いただきました。今年度も4月25日現在で、すでに220名の方が登録していただきましたが、さらにこの和を広げたいと思います。登録がまだの方は、是非ご支援ください。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

本年度(H28/4/1~H29/3/31)の年会費(2,000円)は、継続・新規を問わず、以下の方法で納入ください。(1)手渡し:かどやにお越しいただき、直接事務局にお支払いいただく。

- (2)銀行振込: 郵便局 普通 かどや保存会 00850-4-151751
- 百五銀行 普通 かどや保存会 801-460713